

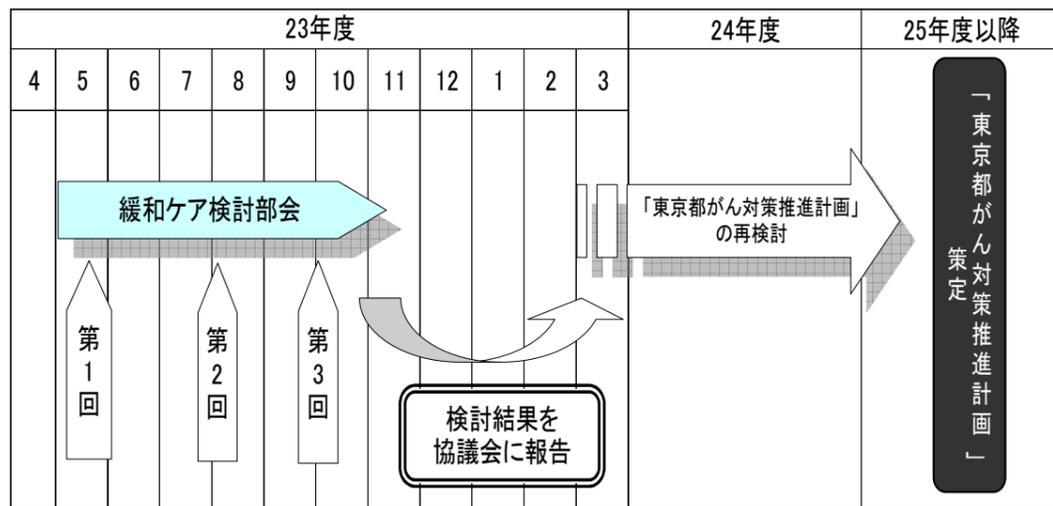
緩和ケアのあり方検討部会の検討状況

概要

- ◆目的
緩和ケアを取り巻く現状や課題に関する実態調査及び分析を行うとともに、緩和ケアのあり方を検討し、東京都における緩和ケアの提供体制の推進を図る。
- ◆検討内容
実態調査の結果を踏まえ、病院と在宅医療との連携、在宅緩和ケアといったテーマを中心に検討。
- ◆検討結果の報告
部会での検討結果は、東京都がん対策推進協議会に報告し、次期「東京都がん対策推進計画（平成25年度から5年間）」に盛り込んでいく。

検討事項及びスケジュール

第1回 (5月20日開催)	■実態調査結果から見えてきた課題出し
第2回 (8月5日開催)	■在宅における緩和ケアの地域連携・多職種連携
第3回 (10月13日開催予定)	■在宅緩和ケアに携わる人材の確保・育成 ■在宅緩和ケアに関する患者・家族や都民への意識啓発



これまでの検討部会

第1回検討部会

- 実態調査結果からみえてきた、病院と在宅医療との連携、在宅緩和ケアなどに関する課題出し
- 今後の取り組みの方向性（検討すべき内容について）

【参考】実態調査(概要)

- ◆ 調査の目的
東京都が策定する「東京都がん対策推進計画」の推進及び緩和ケアの充実に向けて、都内医療機関の緩和ケア提供体制等の実態調査を行い、都における今後の緩和ケアのあり方を検討するための基礎資料とする。

◆ 調査の対象

病院	在宅療養支援診療所	訪問看護ステーション	薬局
646施設（全数）	1,302施設（全数）	555施設（全数）	3,432施設（※）
平成22年8月現在	平成22年8月現在	平成22年6月現在	平成22年8月現在

- ◆ 調査の基準日 平成22年10月1日（調査期間 平成22年10月～11月）
- ◆ 調査方法 郵送による配布、郵送による回収

第2回検討部会

- 在宅における緩和ケアの地域連携・多職種連携について、課題の要因分析等を踏まえて、あるべき姿やそれを実現するための対応策について検討

(検討事項)

- * 早期・円滑な在宅移行や地域における連携
- * 拠点病院等による地域医療機関への支援体制
- * がんの在宅療養患者の後方支援体制

